

〈大和屋本店〉

私が選んだ観光地は愛媛県松山市にある大和屋本店である。『千と千尋の神隠し』のモデルともいわれる道後温泉から徒歩5分に位置し、150年の長い歴史を持つ老舗温泉旅館である。旅館の売りは純和風な旅館の作りであることや、道後温泉から直接引いた温泉があること、能を鑑賞できる施設が常設していることである。

〈クラウドファンディング〉

プロジェクトについて説明する前にクラウドファンディングについて簡単に説明しておく。

クラウドファンディングとは2000年代のアメリカで始まったものである。「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことを指している。資金調達といえば、一般的に金融機関からの借入や関係者・ベンチャーキャピタルによる出資などがあげられる。クラウドファンディングは、そういった資金調達にはない「手軽さ」や「拡散性の高さ」、「テストマーケティングにも使える有用性」といった点が魅力的な新たな資金調達の仕組みとして近年注目されている。

日本では2009年からサービスが開始されており、48万を超えるプロジェクトのうち成功したプロジェクトは19万で成功率は約4割といわれている。

〈取り組み〉

大和屋本店は新型コロナウイルスの影響をにより安定した業績を上げることが難しくなりました。頼みの綱ともいえる「Go To トラベルキャンペーン」も一月末には一時終了した。そこで、大和屋本店の新たな魅力の一つとなるような屋台を館内に作るために2020年12月15日に募集を開始し2021年1月11日の期間でクラウドファンディングを実施した。驚くべきことにこの短期間で目標額の倍以上である2,159,700円を集めることに成功している。

ことの発端は大和屋本店の若旦那がTwitter上でアンケートをとったことから始まる。画像1のアンケートをとったところ738件の意見が集まり「大和屋本店に行きたい！」と顧客が思えるような新しい設備を作ることが決定した。上位二つの無料地酒屋台・駄菓子屋台を完成させるために必要な制作費用は約400万円である。新型コロナウイルスの影響で次の時代への生き残れるかどうか危ぶまれる大和屋本店に400万円を出せる余力はな

く、クラウドファンディングの利用を選択した。当初の目標額は 100 万円で、見返りは屋台に出資者の名前が入ることである。また、金額によっては大和屋本店の宿泊券も配布されるというものだった。

大和屋台の内容とは、お風呂上がりのお客様が楽しめる無料の日本酒 Bar と子供も大人も楽しめる駄菓子 Bar である。これらは宿泊客であれば制限なく利用することができる。
(画像 2・3)

いきなり若旦那*奥村ゴン
@wakadanna_coo

大和屋本店に宿泊者専用ラウンジを作ろうかなと思っていますが、何があったらみんな嬉しい?(無料)

地酒Bar▶愛媛の日本酒数十種	52.6%
駄菓子屋▶お菓子とかラムネとかペーゴマとか	20.1%
漫画図書館▶マンガ数千冊	14.8%
シーシャBar▶国内フレーバー限定	12.6%

738票・最終結果
午後7:21・2020年8月9日・Twitter Web App

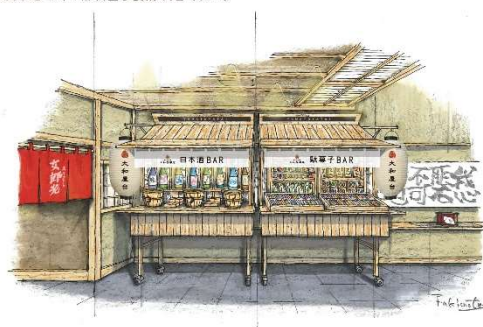
ツイートアクティビティを表示

3件のリツイート 1件の引用ツイート 26件のいいね

画像 1

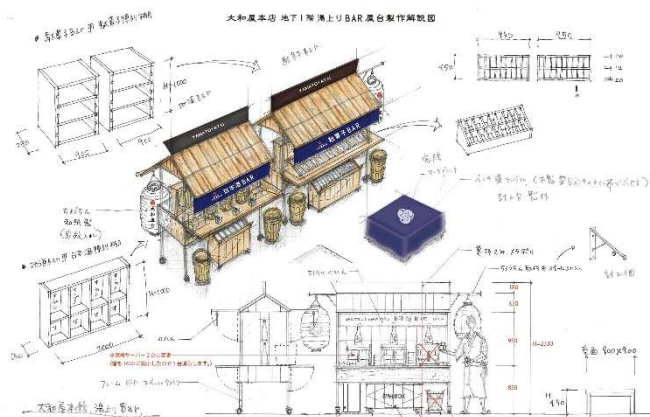
【参照：大和屋本店クラウドファンディングより】

大和屋本店 地下1階 湯上りBAR 屋台イメージ



DUCE
01-8766-1120
TEL: 06-655-1389 FAX: 06-655-1392
E-mail: duce@comae.ac.jp URL: www.duce-tyo.com

大和屋本店



画像 2・3 【参照：大和屋本店クラウドファンディングより】

〈感想〉

私が、大和屋本店を見つけたきっかけは二つある。一つ目は Twitter 上でクラウドファンディングの情報が回ってきたことがきっかけだった。クラウドファンディング募集の本投稿だけではなく大和屋本店のプロジェクトに関してつぶやかれたものの大半を『いきなり若旦那*奥村ゴン』(大和屋本店の若旦那本人のアカウント)によってリツイートされており何度も情報が回ってきたことを記憶している。また、本人のアカウントのみならず

沖縄のホテルリゾート開発者であったり、ホテル評価アカウントなど多くの同業者がツイートしていたことが印象的だったので今回のことをとりあげた。

今回の一件でリゾートホテルなど一般に格式が高いと思われる宿泊施設の情報発信の方法が変わってきているなど感じた。コロナ以前は、雑誌や駅中の広告、ツアーなどで名前をみかけることが多かったイメージだったが最近は Twitter やインスタで宿泊施設の経営者同士が協力し情報を発信している印象を受けた。リゾートホテルの経営者が #一度は止まってみたいホテル などのタグで発信した情報を、ホテルレポートなどを投稿している、いわゆるインフルエンサーが訪れてレポート動画を出す形態は今後ますます増えていくのではないかと感じた。

二つ目は、成人式が中止になってしまった成人の方のために写真撮影場所として能の舞台を無料で貸し出していたニュースをみたことがきっかけである。1グループ40分能舞台貸し切りで家族・友人と振袖を着られる場を提供するうえ、プロのカメラマンがとった写真をプレゼントする試みはとても面白いと思った。

新型コロナウイルスの影響は収まりをみせず、つい先日も緊急事態宣言の延長が発表されたばかりである。終わりが見えない中、観光業・宿泊業・飲食業は今後も非常に厳しい状況が続くだろう。一刻も早く新型コロナウイルスの影響が収束し気軽に旅行できる日常が戻ってほしいと強く思う。

〈参考文献〉

大和屋本店 <https://www.yamatoyahonten.com/>

クラウドファンディング 大和屋本店 <https://camp-fire.jp/projects/view/355775>

クラウドファンディングキックstarter公式ナビ <https://kickstarternavi.jp/tips/188/>

クラウドファンディング キャンプファイア <https://camp-fire.jp/crowdfunding>